

令和8年度の観察会(2回実施)について

資料3

<観察会の趣旨>

- 対象:親子を中心とした町民、開催場所の関係者
- 目的:環境保全の次世代の担い手を育む一助とする
町内の特徴的な生物、希少種などが身近にいることを知ってもらう。
地域の関係者(土地所有者や管理者など)にも参加してもらえると
その場所の自然環境への理解が進む可能性あり
- 内容:遊びを通じた生きものとの触れ合いにより、軽井沢町の生物多様性の
豊かさを実感できるようにする

<スケジュール>

時期	内容
令和7年11月	観察会の実施方針(開催趣旨、開催地、開催時期、対象分類群、講師)について策定検討部会で議論
12月～2月	開催地候補の下見や講師の調整、調査会議・調査専門部会での意見伺い
2月	策定検討部会で観察会の企画内容を議論
4月以降	チラシの配布等 広報の開始

※観察会の開催時期によってスケジュールが変動する可能性あり

1

1

観察会の内容について

- 町内の特徴的な生物、希少種、環境について体験・学んでもらう内容
- 植物、昆虫、魚類などは間近で直接手に触れて観察してもらいやすい
- 鳥類や哺乳類の場合は、観察してもらう場所や方法の工夫が必要
- 駐車場、トイレなどがある場所が開催しやすい
- 半日程度の開催が妥当か?、開催時期や時間帯は対象種や季節により要調整
- 子ども、親子を対象にすると夏休み期間中の開催が良い場合もあるか

観察会の開催地(案)



2

2

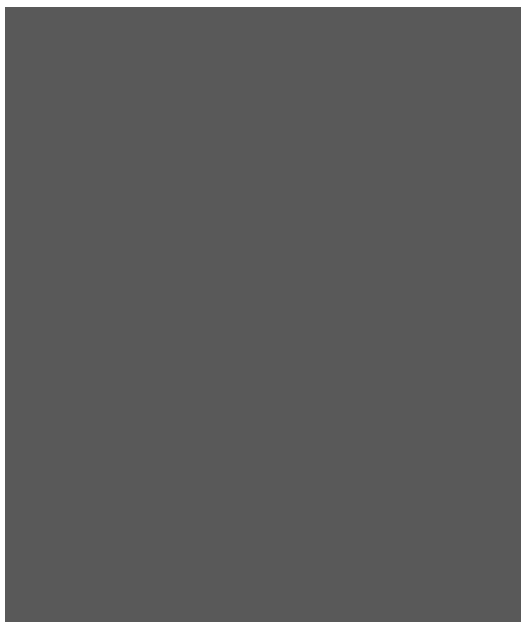
観察会の開催地(案)



3

3

観察会の開催地(案)



4

4